





事業報告書
(団体紹介シート)

令和3年11月現在

団体紹介	
団体名	NPO 法人浜田おやこ劇場
代表者氏名	理事長 馬場 範子
団体所在地	〒697-0024 浜田市黒川町 1124 番 5
連絡先	(0855) 23-6396 <input type="checkbox"/> 非公開
設立年月日	平成元年 10月 7日
会員数	個人会員 149人 ・ 賛助会員 17名
活動分野	該当するものに○
	<input type="checkbox"/> 社会貢献に関する事業 <input type="checkbox"/> 人材育成事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 芸術文化の振興に関する事業
	<input type="checkbox"/> その他の事業
活動時間	活動の運営拠点となる事務局は(水)(金)午前を除き、平日9:45~12:00、13:00~16:30に開局しています。
活動内容	<p>全国各地からプロの劇団に来てもらい、年4~5回程、赤ちゃんから祖父母世代の会員で舞台劇や人形劇を鑑賞しています。3歳以下は無料。4歳以上おとなの会員は毎月会費1,300円を積み立て、鑑賞例会に無料で参加できます。昨年からは感染防止策を講じ、家族単位で鑑賞する客席作りをしています。親子や地域の方と共に鑑賞し、感じたことを共有できる機会の必要性を感じています。今後12/11(土)、12/12(日)、来年3/13(日)に鑑賞する機会があり、子育て世代や地域の方に鑑賞する楽しさを広報しています。</p> <p>県委託事業、子育て支援団体でつくる「しまね子育て支援ネットワーク つながるネ！ット」では、県西部団体の世話人として、子どもを取り巻く環境について協議しながら事業を行っています。昨年度から“広げよう！子どもの権利条約~hamada~”を掲げ、講演会等で子どもの権利条約についての学習機会を設け、地域での機運を高め合っています。</p>
団体のPR	創造性あふれる文化環境づくりと、子どもとおとなが共に育ち合う環境づくりを推進することにより、子どもの社会参画の機会を拡充したり、かつ子どもの豊かな成長に寄与することを目的として活動しています。

事業報告

<p>事業名</p>	<p>「たっちゃんの紙芝居ライブ 地域特別公演」</p>
<p>事業内容</p>	<p>・たっちゃんの紙芝居ライブ 地域公演① 講師 マーガレット一家 川上竜生さん 他劇団スタッフ 1名 実施日： 10/15(金) 子育てサロンすぱーすひだまり内で実施 時間： 10:30～11:10 参加者：大人 17名・子ども 14名 場所： 浜田市子育て支援センターすくすく</p> <p>・たっちゃんの紙芝居ライブ 地域公演② 講師 マーガレット一家 川上竜生さん 他劇団スタッフ 1名 実施日： 10/17(日) 時間： 14:30～15:10 参加者：大人子ども計 75名 場所： 浜田市世界こども美術館 1F エレベーター前ホール</p>
<p>事業目的 (成果)</p>	<p>紙芝居公演で益田、浜田で連続した公演を計画していたが、感染状況から2か所中止になったことから、近隣に声をかけ、地域公演として浜田の子ども達に鑑賞機会を届けることを目的に企画しました。</p> <p>日にちが迫る中「どうやったら一人でも多くの子ども達に届けられるか」と理事が公演できる団体をあたり、子育て支援センターすくすく、世界こども美術館の協力が得られ、地域公演として実施できることになりました。</p> <p>各会場で紙芝居師が「全部OK！みんな正解！」と汗だくで言ってくれる心地よい空間は、子どもから大人まで安心して笑い合えた地域公演となりました。</p> <p>様々な年代の方と紙芝居で同じ時間を共有し、地域の中で笑い合うひとときの大切さを改めて認識しました。鑑賞したくても鑑賞できない子ども達へ、笑顔を届ける方法を今後考えていきたいと思えます。</p>
<p>活動の様子</p>	<p>10/15(金)子育て支援センターすくすく公演（すぱーすひだまり内実施）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>10/17(日)世界こども美術館公演</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

今後の 取組予定	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の子育て世帯へ、鑑賞モニター企画を積極的に広報していく。・子どもを取り巻く環境について、日々会員と情報交換をしながら、子育て世帯に芸術文化の心地よさをどのように体験してもらえるか企画を練っていく。・子どもに関わる団体と連携を取り、協働できる関係を構築していく。
-------------	---